

大阪府介護生産性向上支援センター
伴走支援プログラムDAY 5（成果報告）

特別養護老人ホームせつつ桜苑による 見守りセンサーの取り組み報告

2025年 3月11日

【事業所名】 特別養護老人ホームせつつ桜苑

01 事業所概要

02 取組概要・流れ

03 取組結果・成果

04 取組のまとめ

01

特別養護老人ホームせつつ桜苑

事業所概要



サービス目標

オンリーワンとナンバーワンを目指す

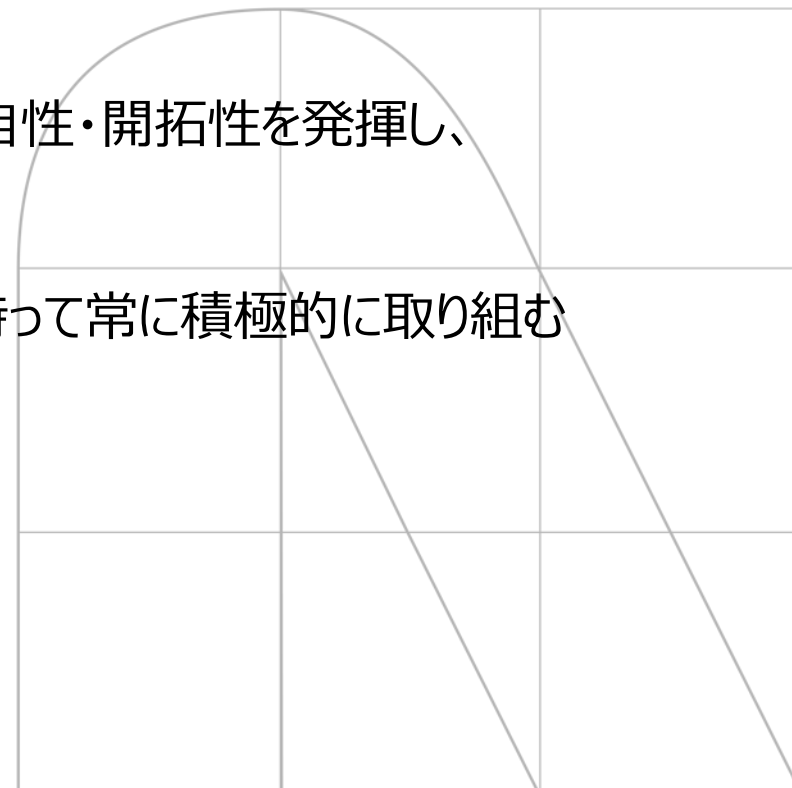
オンリーワンとは思い切った発想、独自性・開拓性を発揮し、オリジナリティを目指すこと

ナンバーワンとは先駆性と計測性を持って常に積極的に取り組む姿勢。

所在地：大阪府摂津市

特別養護老人ホーム 54床

平均介護度 3.9



01 事業所概要

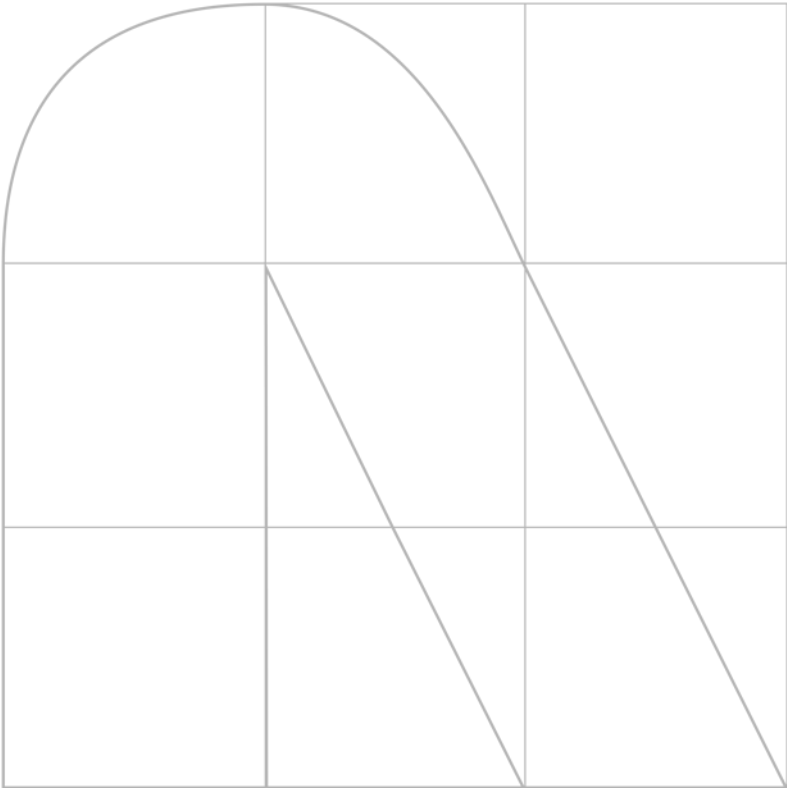
- 1997年設立 従来型特別養護老人ホーム
- 併設事業 短期入所生活介護（高齢）、短期入所（障がい）、通所介護、認知症対応型通所介護、居宅介護支援、老人福祉センター、配食サービス、
- 4階建て 2階27名、3階27名が特別養護老人ホーム
- 2016年床走行式リフト導入 17名/54名で使用
- 2023年スタンディングリフト（介護ロボット）導入 4名/54名で使用



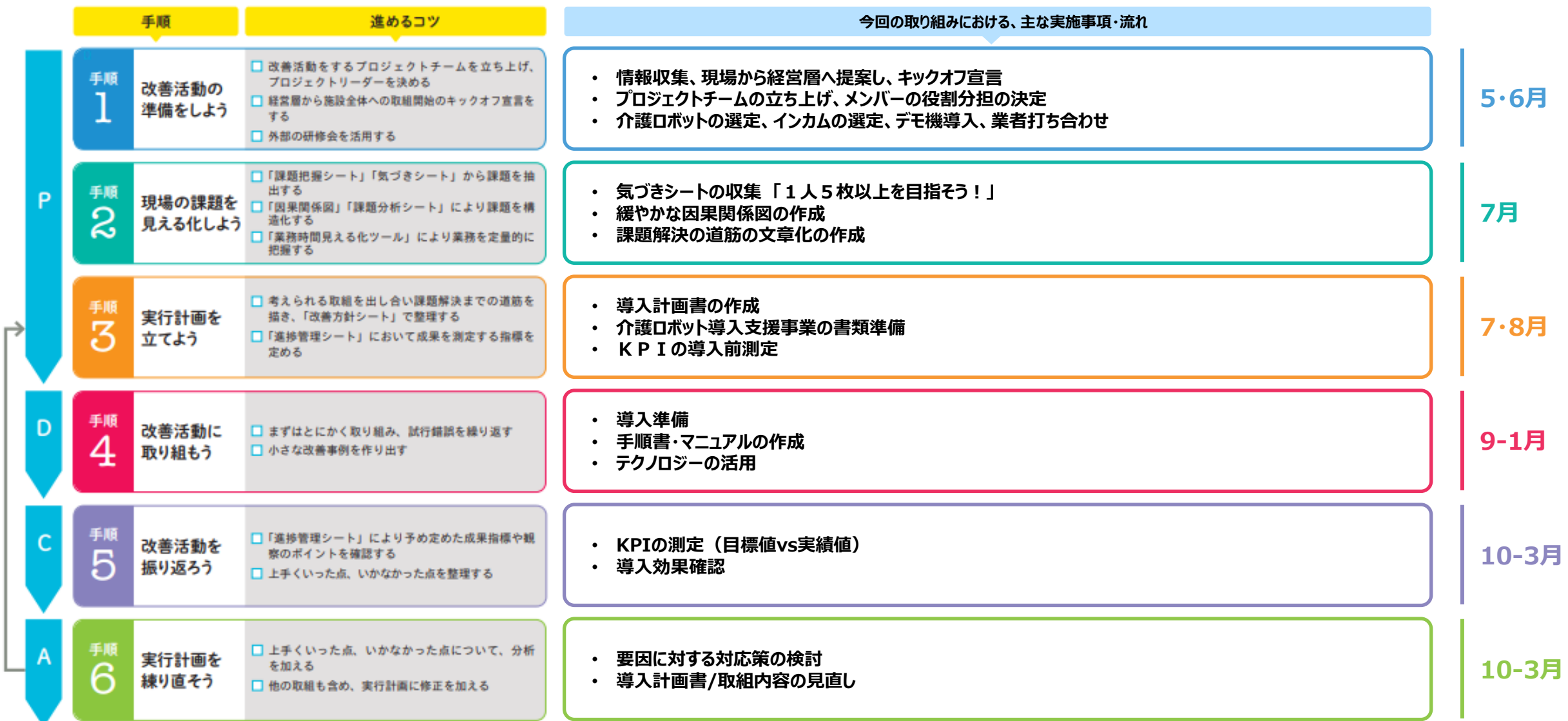
02

取組概要・流れ

見守りセンサーを導入し、個別ケアを進めていきたい！

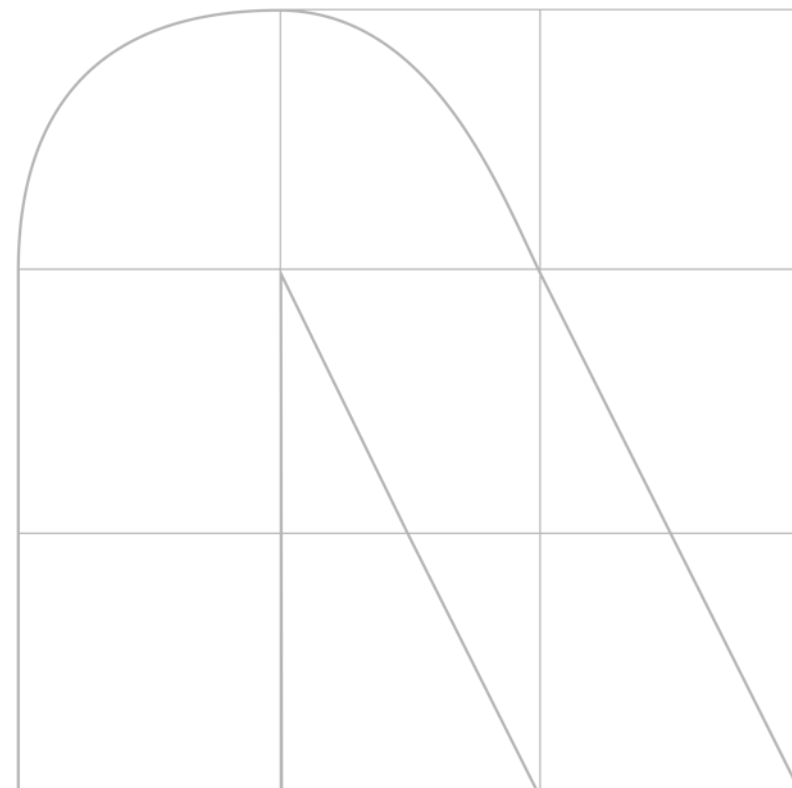
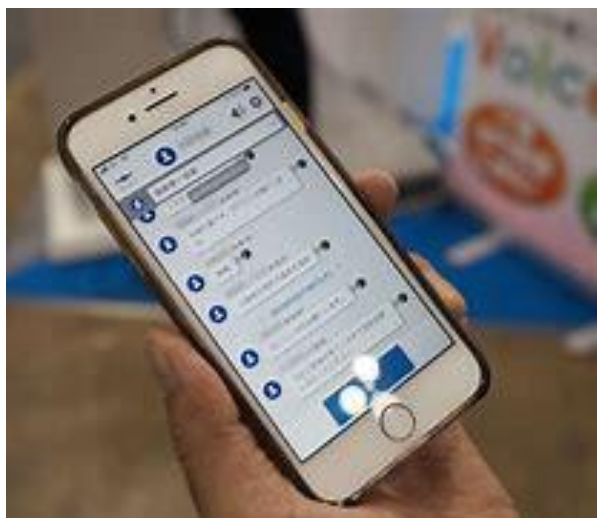


02 取組概要・流れ



03

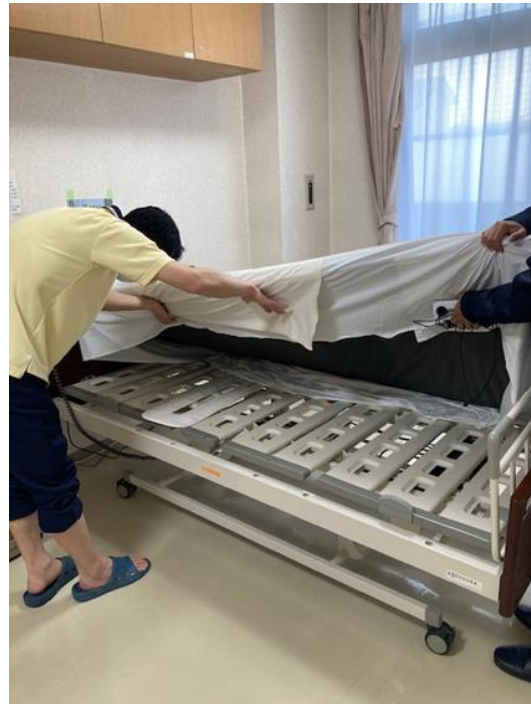
取組結果・成果



03 取組結果・成果

【手順1】改善活動の準備をしよう

- ・プロジェクトメンバーを選定。
介護支援専門員、介護係長、介護主任、介護職員、機能訓練指導員、看護師で月1回会議を実施。
- ・現場の困りごとを 介護ロボットを活用し、改善する ことの目的共有
- ・見守りセンサーを含む介護ロボットの選定 展示会への参加や福祉用具業者に相談



介護スタッフ25名に困りごとアンケート実施

困りごと！

夜間の巡視、体位交換が多い

訪室によって利用者の安眠を妨げている

見守りセンサーの導入により、

利用者の安眠と夜勤業務の負担
軽減も図れる 個別ケアをしたい

- 見守りセンサーを導入し、
- 定時の巡視回数を減らし、夜勤業務の負担軽減を図る！
眠れていない利用者にだけ対応できる！ ⇒ **個別ケアの実現**
→ K P I の測定方法は「延べ巡視人数」
- 朝方にオムツやシーツをとってしまいう利用者がいる。
起床のタイミングに合わせて介助したい！ ⇒ **個別ケアの実現**
→ K P I の測定方法は「シーツの交換回数」



- デモ機の導入
見守りセンサーは2種類を2週間ずつ実施

→利用者の起きるタイミングがわかり、夜中3時にセンサーがなった！
「もう少し寝る時間ですよ」と伝えたら朝まで休めた！！

インカムは2種類見本を使用してみる

→Wi-Fi環境によって途切れる
耳にかけるタイプはオムツ交換で落ちる
ネックスピーカーいい感じ！

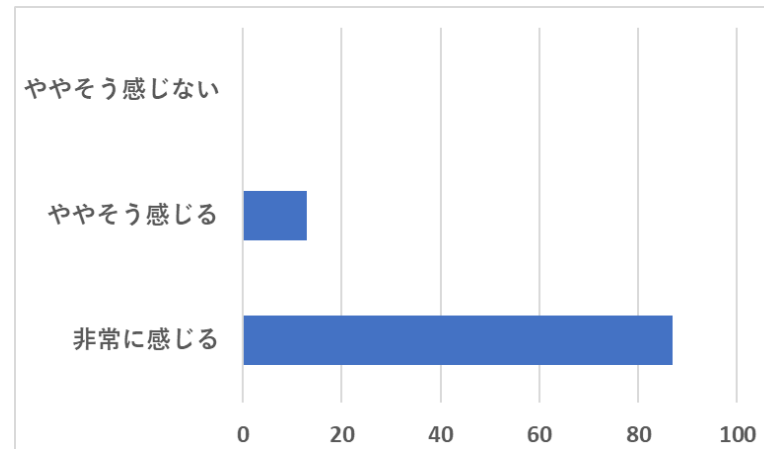


➡ 日頃から施設内を良く知っている福祉用具販売業者さんに相談
記録システムと相性の良いものを選定

- ・インカムを先行導入、使用開始
- ・見守りセンサーは医師、看護師（医療職）にも設置状況を確認してもらう
- ・見守りセンサーを使った夜勤マニュアルを作成
- ・1フロア27名から実施
その後、2フロア27名を追加し、最終54名で使用
- ・離床アラームのみから使用をスタート、他の機能は最初は使用しない
たくさん機能があるけれど、最初はよくばらない！

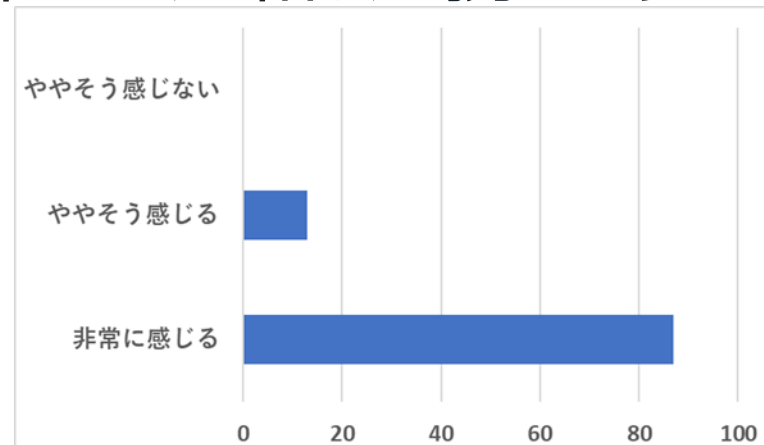
- スタッフ30名を対象にアンケート
- インカムを導入したことでスタッフ同士（同じ職種）の連絡、連携はとりやすくなりましたか？

非常に感じる 87%
ややそう感じる 13%
ややそう感じない 0%



- インカムを導入したことで多職種との連絡、連携はとりやすくなりましたか？

非常に感じる 87%
ややそう感じる 13%
ややそう感じない 0%



・見守りセンサーを使った夜勤開始

20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	備考
排泄	aams	aams	aams	aams	排泄	aams	aams	aams	aams	aams	自動エアマット・体交なし
排泄	aams	aams	体交	aams	巡視	aams	aams	排泄	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	排泄	aams	aams	自動エアマット・体交なし
排泄	aams	aams	体交	aams	巡視	aams	aams	排泄	aams	aams	
排泄	aams	aams	体交	aams	巡視	aams	aams	排泄	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	排泄	aams	aams	aams	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	aams	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	排泄	aams	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	排泄	aams	自動エアマット・体交なし
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	体交	巡視	aams	排泄	aams	aams	aams	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	排泄	
排泄	aams	aams	aams	aams	排泄	aams	aams	体交	aams	aams	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	体交	巡視	aams	aams	aams	排泄	aams	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	排泄	aams	aams	aams	
	aams	aams	aams	体交	巡視	aams	aams	体交	aams	排泄	
	aams	aams	aams	体交	巡視	aams	aams	体交	aams	排泄	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	排泄	
	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	aams	aams	aams	排泄	
排泄	aams	aams	aams	体交	巡視	aams	aams	体交	aams	排泄	
排泄	aams	aams	aams	aams	巡視	aams	排泄	aams	aams	aams	自動エアマット・体交なし
排泄	aams	aams	体交	aams	排泄	aams	aams	体交	aams	aams	
排泄	aams	aams	aams	aams	排泄	aams	aams	aams	aams	aams	自動エアマット・体交なし

- 呼吸数、心拍数の低下でアラームになるよう設定
数値は管理医師とも相談

- 離床アラームは転倒リスクがある人のみ設定

⇒臥床しているはずなのに、「離床」となる方、
呼吸数、心拍低下のアラームが鳴った時、
離床アラームがなった時は訪室して確認。

⇒90分ごとの巡視は夜間は1回の目視へと変更
巡視は見守りセンサーに任せて、スタッフはケアが必要な方へ注力する。

結果 体調不良者の様子をこまめに見に行ける
看取り介護に余裕ができた
落ち着いてケアができる

03 取組結果・成果

【手順5】改善活動を振り返ろう

見守りセンサー導入前（巡視・訪室人数）

利用者27名	延べ人数	
巡視（排泄介助・体位交換）	156	26名×6回 90分ごと含む
看取り	10	1名
個別対応	6	ナースコール対応など
合計（名）	172	

見守りセンサー導入後（巡視・訪室人数）

利用者27名	延べ人数	
巡視（排泄介助・体位交換）	44	27名夜間目視1回含む
看取り	0	0名
個別対応	8	ナースコール対応など
合計（名）	52	

- 定時の巡視回数を減らし、夜勤業務の負担軽減を図る！
眠れていない利用者にだけ対応できる！

→ K P I の測定方法は「延べ巡視人数」
巡視をモニター確認へ変更 1フロアでは巡視延べ人数の大幅削減

172名→52名で67%削減

体調不良者や看取り介護者へ関われる時間が増えた

- 朝方にオムツやシーツをとってしまいう利用者がいる。
起床のタイミングに合わせて介助したい！
 - K P I の測定方法は「起床時のシーツ交換回数」

見守りセンサーを導入前	9回/30日	3ヵ月間で転倒 2 回
見守りセンサーを導入後	5回/30日	3ヵ月間で転倒 0 回
 - シーツ交換回数 9回→5回で 55%削減
 - 転倒回数 2回→0回

04

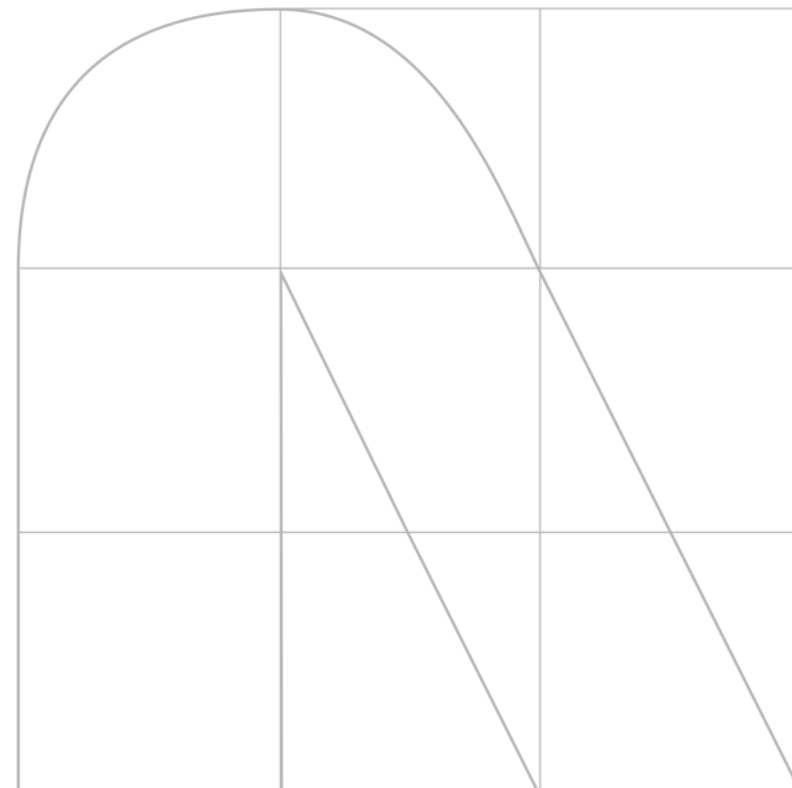
取組のまとめ

見守り介護ロボット

a a m s / アアムス

安心 安全 見守り システム

非接触・非拘束・非侵襲を実現し、ストレスフリーの状態で
24時間「安心、安全」をお届けします。



スタッフのコメント

～見守りセンサーの使用～

- 巡視に追われることがなくなり、夜間トイレに行きたい方の対応がすぐできるようになった
- 精神的な余裕が生まれ、発熱者や看取りの方へゆっくり対応できるようになった
- 呼吸数の低下でアラームが鳴るため、睡眠時無呼吸になっている方が把握できた
- 眠りが浅く、巡視ごとに開眼していた方が巡視が減り、最近よく眠れている様子

～インカムの使用～

- 介助の途中でPHSを取る手間がなくなった
- 利用者の面会も情報共有できるようになり、家族へ情報提供しやすくなった

- 介護の生産性向上とは
「一律のケアではなく人にしかできないケアを必要な方に提供すること」
- 介護ロボット導入の心構えは
 - ①この人にもっとこうしてあげたいと思う個別ケアから考える
 - ②一人のケアから考えると必ず複数名へ派生する
 - ③機能を色々使おうと最初から欲張らないこの3つだと私たちは考えています。

導入に当たっては日ごろからお世話になっている福祉用具業者の担当の方に多大なる協力をいただきました。使用に問題がないか頻繁に施設に足を運んでくださり、大変感謝しています。丁寧な質問に答えてくださった大阪府の担当者の方にも感謝しています。

今後は見守りセンサーを使用し、睡眠状況を知り、日中のケアを考えていきたいと考えています。また、積極的に介護ロボット、ICT化に取り組み、地域の福祉教育にも協力していきたいです。

NTT DATA

株式会社NTTデータ経営研究所

Lighting the way
to a brighter society